# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営
1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をＰＲ!!!

ーサービス向上への３ステップー

【記入方法】
- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居（ユニット）ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

（注） 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。（他に「家族」に限定する項目がある）
- 運営者＝事業所の具体的な経営･運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
- 職　員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。関係者とは管理者･職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

| | |
|---|---|
| 事業所名 | グループホームさくら |
| (ユニット名) | |
| 記入者（管理者） | |
| 氏　名 | 山本　康正 |
| 評価完了日 | 平成　19　年　10　月　1　日 |

［認知症対応型共同生活介護用］

# １． 評 価 結 果 概 要 表

作成日　平成19年11月30日

【評価実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 3873500676 | | |
| 法人名 | 有限会社　ＳＫＲ | | |
| 事業所名 | **グループホーム　さくら** | | |
| 所在地 | 伊予郡砥部町高尾田１００８－６　（電話）089-956-5358 | | |
| 管理者 | 山本康正 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人　JMACS | | |
| 所在地 | 松山市三番町六丁目５－１９扶桑ビル2階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年10月24日 | 評価確定日 | 平成19年11月30日 |

【情報提供票より】　（平成19年10月1日事業所記入）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **(1) 組織概要** | | | | |
| 開設年月日 | 平成15年12月1日 | | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 | |
| 職員数 | 11 人 | 常勤 4人, 非常勤 7人, 常勤換算 5.8人 | | |
| **(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)** | | | | |
| 家賃（平均月額） | 36,000 円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる | |
| 敷　　金 | 有（　　円） | (無) | | |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有（　　円）<br>(無) | 有りの場合<br>償却の有無 | 有　／　無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,100 円 | | | |
| **(3) 利用者の概要** | （平成19年10月1日現在） | | | |
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 1 名 | 女性 8 名 | |
| 要介護１ | 5 名 | 要介護２ | 1 名 | |
| 要介護３ | 1 名 | 要介護４ | 1 名 | |
| 要介護５ | 1 名 | 要支援２ | 0 名 | |
| 年齢 平均 | 85 歳 | 最低 76 歳 | 最高 91 歳 | |
| **(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算** | | | | |
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | | |
| 指定 あり (なし) | 指定認知症対応型通所介護 | | | |
| 届出 あり (なし) | 短期利用共同生活介護 | | | |
| 加算 (あり)・なし | 医療連携体制加算 | | | |

**[外部評価で確認されたこの事業所の特徴]**

●利用者個々の思いや意向は、その都度申し送りノート、管理日誌、個人記録に記載し、全員が把握できるようにされている。職員は、利用者それぞれにゆっくりかかわることが出来るように努めておられる。
●カンファレンス時、ご家族にも参加いただき、一緒に相談しながら計画を作成するようなこともある。
●ご本人の思い出に残る写真を飾られたり、お位牌に花を供えている方の居室もうかがえた。

**[質向上への取組状況]**

**▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)**

・前回の評価結果を受けて、利用者への言葉かけや対応について、課題が生じた場合には、ミーティングを行い、自己評価の項目の内容に基づき話し合い、「少しでも利用者の笑顔が増えるよう」取り組まれた。

**▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)**

・ミーティングの際に、自己評価についても全職員にて話し合いを持っている

**▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)**

・これまで２回、運営推進会議を開催し、事業所の紹介や説明等を行なっておられる。

**▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)**

・ご家族の来訪時、ご家族に意見や要望を出していただけるよう声をかけておられる。ご家族の意見や希望を聞き、管理日誌に記入されており、ご本人へのケアの要望等が記入されていた。

**▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)**

・散歩時に近所の方とお話をされる等、顔見知りとなり、関係を作っていかれている。利用者が楽しめるようにと道端にお花を植えてくださった近所の方もある。

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ．理念に基づく運営**<br>**1．理念と共有** | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br>　地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | **(自己評価)** | | |
| | | | その人らしく、今まで生きてきた暮らし方を大切にし、継続性を考えながら、出来るだけ今までのペースを大切にし、地域の中で暮らし続けるように支援している。 | ※ | その人らしさをテーマにし職員全員で利用者の方の目標や、接し方を常に全員で話し合うようにしている。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 「利用者の尊厳を大切にしたその人らしい生活の支援・質の高い介護・地域住民や行政との連携」の理念に基づき取り組まれている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br>　管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | **(自己評価)** | | |
| | | | 毎日の申し送りや、その際気づきに対しての話し合い、月に１回のミーティング、カンファレンスの際、支援が利用者の方一人ひとりに合っているかどうかを確認しあい、話し合っている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 玄関に理念を掲示し、管理者は、ミーティング時や職員との話し合い時等、理念について話をされている。 | | |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透<br>　事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | **(自己評価)** | | |
| | | | 家族の方には面会時やカンファレンス時に地域の方には、運営推進会議の際に事業所の理念を説明し、理解が得られるように伝えている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **2．地域との支えあい** | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 散歩に出かけた際は、花作りの大好きな近隣の方と挨拶を交わしたりするよう心がけている。 | | |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 地域の神社の夏越しや夏祭り、地方祭への参加、小学生との心の交流、医療技術大学の学生の実習の受入れ等で交流している。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 散歩時に近所の方とお話をされる等、顔見知りとなり、関係を作っていかれている。利用者が楽しめるようにと道端にお花を植えてくださった近所の方もある。 | | |
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | **(自己評価)** | | |
| | | | 運営推進会議等で、地域の方に向けて話し合いをしている。 | | |
| **3．理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | **(自己評価)** | | |
| | | | ミーティングの際に、自己評価についても全職員にて話し合いを持っている | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 前回の評価結果を受けて、利用者への言葉かけや対応について、課題が生じた場合には、ミーティングを行い、自己評価の項目の内容に基づき話し合い、「少しでも利用者の笑顔が増えるよう」取り組まれた。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 運営推進会議にて、施設の理念、内容などを説明し、質問や意見を出していただき話し合った。 | ※ | 職員全員で、利用者の方へのサービスの向上に、運営推進会議をどう取り入れるかを話し合いたい。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | これまで２回、運営推進会議を開催し、事業所の紹介や説明等を行なっておられる。 | ※ | 今後、事業所では、災害時の地域との協力体制についてや、事業所での看取りの方針等を説明する等、出席者と活発に意見交換をしていきたいと考えておられた。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | **(自己評価)** | | |
| | | | 砥部町、介護保険施設、ケアマネージャー連絡会があり、３ヶ月に１回テーマを決め、市町村の担当者も一緒に勉強会をし、質の向上に取り組んでいる。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 介護相談員の受け入れや、町の福祉施設等が集まる連絡会に出席をされ、ケアについての勉強会等もされている。 | | |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 現在のところ必要な方はいないが、地域福祉権利擁護事業や、成年後見人制度について学んでいる。 | ※ | 職員にも積極的に研修に参加するよう勧めている。 |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 毎日の申し送りや、月に１回のミーティングの際にも、利用者の方状態には十分注意をし、話し合いを持っている。 | ※ | 職員にも自分自身の健康や、精神のバランスを保つことの大切さについて、話し合っている。 |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得<br>　契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | **(自己評価)** | | |
| | | | 利用を予定している方については、見学や自宅への訪問をし話し合いの機会を多く持ち、質問内容については、丁寧に説明し、契約時にもゆっくりと説明している。 | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映<br>　利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | **(自己評価)** | | |
| | | | 職員は利用者の方との日常会話の中で、不安や本人の希望を聞きだし、その人らしい支援が出来るよう、家族の方からも意見を聞き、その内容について職員間で話し合いを持っている。 | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告<br>　事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 家族の面会時に健康状態や日常の様子等を説明している。また、毎月の便りなどで写真を添えて家族に送付している。また、必要時は家族の方と電話にて報告、連絡、相談をしている。 | ※ | 年３回くらい家族と食事会を兼ねた行事を行い、職員との話す機会を多くし、話し合える雰囲気作り、話し合える場を持っている。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | ご家族の来訪時にご本人のご様子を伝えたり、便り等でも報告をされている。 | ※ | さらなるご家族の安心のためにも、ご家族の知りたいこと等を探り、事業所からの報告のあり方について工夫を重ねていかれることが期待される。 |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>　家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | **(自己評価)** | | |
| | | | 家族の方の話しやすい環境を作るとともに、意見や希望等を聞くように努めている。 | ※ | 信頼関係を作れるよう、運営推進会議や行事などで、家族の方と話し合いの機会を多く持てるようにする。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | ご家族の来訪時、ご家族に意見や要望を出していただけるよう声をかけておられる。ご家族の意見や希望を聞き、管理日誌に記入されており、ご本人へのケアの要望等が記入されていた。 | ※ | さらに、ご家族等から意見が出しやすいような働きかけや手段等について、工夫を重ねていかれることが期待される。 |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | **(自己評価)** | | |
| | | | ミーティング前や、ミーティングで全職員の意見を聞いている。 | | |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 利用者の方の生活のリズムを把握し、必要な時間帯に調整している。行事に対しては人員を確保している。 | | |
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 離職を希望している職員とは話し合いの時間を設けている。 | ※ | 新しい職員にはマンツーマンで利用者の方のポイントを説明し、早くなじみの関係が築けるよう支援している。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 新しい職員には、利用者へのケアについて説明をされている。 | ※ | 離職を最小限に抑える努力についての工夫や利用者へのダメージを防ぐ配慮、又、ご家族等への報告等も含めて、この機会に話し合われてみてはどうだろうか。 |

## 5．人材の育成と支援

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 研修会の参加を呼びかけたり、研修ビデオを全職員で見たり、ホームにも、介護の本やＤＶＤを置いて貸し出している。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | ＧＨ連絡協議会や砥部町シルバーセンター主催の介護に関する研修等への参加を勧め、職員も自発的に参加されている。受講後、ミーティング時に発表される等、職員間でも共有されている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 相互研修等への参加を積極的に行っている。研修に参加した職員にはミーティングの時などに気づきなどの発表をしみんなで話し合いの場を持つようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 他町のグループホームと職員が行き来されており、事業所で一日を過ごし、気づいたことや感じたこと等を、ケアに活かせるよう取り組まれている。 | | |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 何でも話し合える雰囲気作りを心がけ職員のストレスや悩みがあれば、日常的に受け止めて、話し合えるようにしている。 | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 職員の性格や勤務状況を把握し指導することにより、職員個々が自己啓発し向上心を持って勤務できるよう努めている。 | | |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応** | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 事前に生活状況や性格などを出来るだけ把握できるように努めて、本人や家族に希望を聞くようにしている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 入居前に家族の要望を聞き事業所としての対応などを詳しく説明している。 | | |
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 本人と家族の要望や求めているものを理解し、事業所として出来るかを話し合っている。 | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | **(自己評価)** | | |
| | | | 本人や家族にいつでも見学に来ていただいて、運営者や管理者と十分話し合うことで安心して利用してもらっている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 「家に帰りたい」と言われる方の気持ちにも寄り添いながらゆっくりと事業所に馴染めるよう支援されている。 | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | **(自己評価)** | | |
| | | | 本人の思いや不安、また、好きなこと、食べ物、得意なことなどを把握し生活の中で支えあう関係を築くようにしている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 職員は、利用者を「人生の先輩」として敬い、会話の中から生き方のヒントをいただいたり、礼儀作法を教えていただくようなこともある。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 28 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>　職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | **(自己評価)**<br>日頃から家族の方と話す機会を多く作り、本人からの希望や、訴えなどを家族に相談しながら、協力し合える関係作りに努めている。 | | |
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>　これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | **(自己評価)**<br>本人の思いも家族に伝え、家族の思いも受け止め支援するようにしている。 | | |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>　本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | **(自己評価)**<br>家族の方を中心に、なじみの人への電話や、相手の方の都合をお聞きしての訪問なども考えながら支援している。 | | |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援<br>　利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | **(自己評価)**<br>朝からの声掛けの中で話を聞いたり、食事やおやつの時も、空気を読んだり、仲介役をしたり、井戸端会議をいている。 | | |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み<br>　サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | **(自己評価)**<br>サービス利用が終了しても、家族の方からの相談があれば、のっている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| **1. 一人ひとりの把握** | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | **(自己評価)** | | |
| | | | 利用者の方と過ごす時間を多くして、その中で本人の希望や関心を探り、笑顔が多く見られる場面作りをしている。その時の反応などにも注視し把握に努めている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 利用者個々の思いや意向は、その都度申し送りノート、管理日誌、個人記録に記載し、全員が把握できるようにされている。職員は、利用者それぞれに、ゆっくりかかわることが出来るように努めておられる。 | | |
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 契約のときや、話し合いのとき、家族からの情報や資料を基に、その人らしい暮らしをテーマに、把握に努めている。 | | |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 生活のリズムを把握するとともに、会話を多く持てるような関係作りに努めている。 | | |
| **2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し** | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | **(自己評価)** | | |
| | | | 日常生活の中から、本人の困っていることやしたい事等を全職員で意見を出し合い、カンファレンス等でも話合い、介護計画を作成している。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | カンファレンス時、ご家族にも参加いただき、一緒に相談しながら計画を作成するようなこともある。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>　介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画の見直しがあれば、月１回のミーティングで話し合い、本人の要望や、状態の変化によってその都度検討し見直しを行っている。<br>(外部評価)<br>３ヶ月に一度の定期的な見直しと、状態変化時にはその都度見直しを行っておられる。 | | |
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映<br>　日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価)<br>個別に記録をし、必要事項は管理日誌や申し送りノートに記入し、毎出勤時に確認するようにしている。その中で必要であれば毎月のミーティング時にカンファレンスを行い情報の共有を図り見直しに活かしている。 | | |
| **3．多機能性を活かした柔軟な支援** | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>　本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価)<br>本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応ができっるように心がけている。<br>(外部評価)<br>個別の外出支援やかかりつけ医の受診、入退院時の支援等、ご本人ご家族の希望に柔軟に対応されている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働** | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価)<br>運営推進会議を活用したり、小学校からの児童の受け入れを行っている。 | | |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価)<br>現在は利用している方はいない。必要に応じて対応するようにしている。 | | |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>砥部町、介護保険施設、ケアマネージャー連絡会の会議を通して参加している。 | | |
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価)<br>２週間ごとに１度の協力医療機関からの往診や、以前からのかかりつけ医で継続される方もいる。<br>(外部評価)<br>利用者、ご家族が希望される病院を受診できるよう支援されている。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価)<br>かかりつけ医や専門医と相談できる体制にある。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 45 | | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 看護師資格をもつ職員が１週間に１回以上、また、緊急時や必要時には、すぐに対応できる体制をとっており、日常の健康管理など、いつでも相談できるようにしている。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | **(自己評価)** | | |
| | | | 入院時は医療機関と情報交換を行い、なるべく早期退院できるよう家族とも相談している。 | | |
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | **(自己評価)** | | |
| | | | ターミナルに対して協力医療機関の医師や家族などと必要に応じて話し合いを何度も行い柔軟な対応が行えるようにしている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 現在、重度化や終末期の支援について、ご本人やご家族と話すような機会はあまりない。 | ※ | ご本人の意向の把握やご家族の不安なこと等についての聞き取りをされ、事業所の方針等も伝え、繰り返し話し合いを行なっていかれることが期待される。 |
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | **(自己評価)** | | |
| | | | 入居時や必要時には、ターミナルに対する要望を聞き取り、事業所でできること、できないことをその都度話し合っている。 | | |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | 本人、家族、ケア関係者と十分な情報交換を行い、生活歴、ケアに関する情報を共有することによってダメージを防止するように努めている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **そ** | | | | | |
| **1．その人らしい暮らしの支援** | | | | | |
| **(1) 一人ひとりの尊重** | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | **(自己評価)** | | |
| | | | 利用者の方への接し方では、介護をしている、されているという雰囲気をかもし出さないように職員間で話し合い、気づかいの工夫をしている。 | ※ | 朝礼の申し送りの際や利用者がいらっしゃる所での話は、あからさまに相手の方に分かるような話し方にならないように注意している。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 職員は利用者への対応等について、事業所の理念に基づき振り返りながら支援できるよう努めておられる。 | | |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 声掛けの内容、タイミングには十分配慮し、本人の力量に応じながら、声掛けを行うように心がけている。 | ※ | 利用者の方が主体であるということをいつも念頭に置いている |
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 利用者の方と信頼関係を築くようにし、その話し合いの中で、ライフスタイルや、したい事を聞き出し、柔軟に対応できるようにしている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 調査訪問時、車椅子を利用されている利用者の方に、職員が「どちらに行きますか」と尋ねながら散歩をされている様子がうかがえた。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援** | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている | **(自己評価)**<br>起床時には着る服などもお聞きして、モーニングケアをし、理容、美容についても、要望をお聞きするよう努めている。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | **(自己評価)**<br>日常の生活の中でどんな物が食べたいかお聞きして、調理の前の準備や、後片付けもできる限り要望を聞くようにしている。<br>**(外部評価)**<br>職員は、食事の準備や後片付けを利用者と共に行っておられた。食事は、会話を交わしながら和やかに行なっておられる。時に、ウッドデッキでおやつを楽しまれることもある。 | | |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | **(自己評価)**<br>個々の望むおやつや飲み物の好みをお聞きして、要望に答えられるよう支援している。 | | |
| 56 | | ○気持よい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | **(自己評価)**<br>排泄チェックを毎日行い、パターンを把握するように努め、トイレ誘導を心がけている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>　曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 日曜日は入浴はないが、他の曜日は昼からの希望が多いので、希望を聞きながら、また声掛けも工夫しながら支援している。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 利用者の状態や要望に合わせて入浴の支援をされている。 | | |
| 58 | | ○安眠や休息の支援<br>　一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 日中は午前中６０分程度の体操や歌、散歩等で活動的に本人のペースで動いたり、休息したり、眠れるように支援している。 | | |
| **(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援** | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>　張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 本人の出来ること、興味があること、好きなことを把握しながら、集団の中でその方の役割を活かせるよう声掛けをしている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 食事の支度や洗濯物たたみ等、ご本人の出来ることを行なえるよう支援されている。お好きなハーモニカを吹かれたり、歌を歌ったり、棒体操、風船バレーをされている。 | ※ | ご本人の自信や張り合い、喜びのある生活を支援していくためにも、利用者の生活歴や持てる力を生活の中に採り入れていけるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。 |
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>　職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 買い物に行きたいときには一緒に行き、支払いもしていただき、頼まれたときも領収書をつけて預かったお金を返し、残金を確認している。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 散歩は希望時にはいつも行っている。また、水やりや花を見に歩かれたり、車椅子も利用し、出来るだけ外の空気を吸えるよう工夫している。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 散歩やドライブに出かけておられ、外出時、日用品や服等、買い物をされることもある。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | **(自己評価)** | | |
| | | | 本人の希望を聞き、空港やお寺、ショッピング、外食など出かけられる支援をしている。 | | |
| 63 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 電話は希望時はいつでも、年賀状やあいさつ文は希望者と一緒に書いて出せるよう支援している。 | | |
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | **(自己評価)** | | |
| | | | いつでも訪ねて来てもらえる雰囲気つくりや、出迎え、見送りなども気持ち良くなれるよう工夫している。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **(4) 安心と安全を支える支援** | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | **(自己評価)**<br>身体拘束をしないケアについては、言葉の拘束についても気を付けている。 | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | **(自己評価)**<br>基本的には鍵をかけていないが、本人の希望でかけられることもある。外出も自由に出入りできるようにしている。<br>**(外部評価)**<br>玄関や勝手口は昼間は解放されており、自由に出入りできるようになっている。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | **(自己評価)**<br>リビングには必ず職員がいるように、また、用事があるときには職員同士で必ず声掛けをし、目配り気配りに気を付けている。（夜間も） | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | **(自己評価)**<br>調理器具や危険なものについては、職員間で話し合い注意しあっている。 | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | **(自己評価)**<br>事故防止についてはミーティングで話し合ったり、必要に応じて家族にも連絡、相談している。事故が起こった場合には全員で話し合い再発防止に努めている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | **(自己評価)** | | |
| | | | 緊急時のマニュアルを作成し職員全体に周知している。 | | |
| 71 | 27 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | **(自己評価)** | | |
| | | | 地域の方に協力していただけるよう働きかけてはいるが十分とはいえない。 | ※ | 運営推進会議を活用し協力いただけるよう働きかけたい。 |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 年に２回、消防署の指導を受けておられる。避難訓練は、年内に実施する予定となっていた。 | ※ | さらに、地域との連携等、災害対策について全職員で話し合い、すべての利用者が安全に避難できるような体制作りについて、すすめていかれることが期待される。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | **(自己評価)** | | |
| | | | リスクに対しては、家族の方と話し合いを持っている。 | | |
| **(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援** | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | **(自己評価)** | | |
| | | | 日ごろから会話を多くし、利用者の方と信頼関係を築くようにし、朝夕の申し送りや連絡ノートを活用し職員全体で把握できるように努めている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 74 | | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | ファイルを作り職員全体が利用者の薬の効能、副作用について把握できるよう努めている。 | | |
| 75 | | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | **(自己評価)** | | |
| | | | 必要に応じて繊維の多い食品を取り入れたり、歩行などの運動や腹部マッサージをしたりしている。それでも改善できない場合は主治医に相談している。 | ※ | 生活の中で運動不足を解消するための、生活動作をとることに努めたい。 |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 毎食後に、口腔ケアの流れが自然に出来るように声掛けをし、能力に応じて介助している。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 食事摂取量を毎食後記入している。月初めには体重測定を行い、食事は一汁三品から四品を目安に調理している。また、必要時には水分チェックをしている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 毎食、果物を採り入れるよう心がけておられる。又、水分摂取にも気を配り、職員が利用者個々に声をかけておられた。 | | |
| 78 | | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等） | **(自己評価)** | | |
| | | | マニュアルを作成し、全職員で勉強し対策に努めている。利用者の方、職員は毎年予防接種をしている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 79 | | ○食材の管理<br>　食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | **(自己評価)** | | |
| | | | まな板、包丁、布巾などは毎日漂白し乾燥させ清潔にしている。 | | |
| **2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり**<br>**(1) 居心地のよい環境づくり** | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>　利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 玄関周りは清掃し季節の花などをプランターに植えている。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>　共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | 1～2ヶ月に１度は季節に応じた模様替えをしている。<br>食堂には花などの季節感のあるものを置いている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | 居間は、自然光を採り入れ、和室にコタツが設置されていた。壁には季節行事の利用者の写真が飾られていた。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>　共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | ソファーや和室を利用されたり食卓や居室で思い思いに過ごせるようなスペースを設けている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>　居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | **(自己評価)** | | |
| | | | たんす、家族の写真などなじみの物を持ってこられている。 | | |
| | | | **(外部評価)** | | |
| | | | ご本人の思い出に残る写真を飾られたり、お位牌に花を供えている方の居室もうかがえた。 | | |
| 84 | | ○換気・空調の配慮<br>　気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | **(自己評価)** | | |
| | | | 温湿度計を全居室に設置している。エアコン（除湿）や衣類調整を配慮して声掛けしている。 | | |
| **(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり** | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>　建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | **(自己評価)** | | |
| | | | 手すりを必要な所を調べて設置している。 | | |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり<br>　一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | **(自己評価)** | | |
| | | | その人にとって何が分かりにくいかを探し出し、ミーティングなどで話し合い、その人にとって分かりやすく暮らせるように努めている。 | | |
| 87 | | ○建物の外周りや空間の活用<br>　建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | **(自己評価)** | | |
| | | | ベランダには椅子を置き、おやつを食べたり、花壇では花作りやさし木をして楽しまれている。 | | |

# 自己評価及び外部評価票

## Ⅴ．サービスの成果に関する項目

| | 項　　目 | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を○印で囲むこと） | 判断した具体的根拠 |
|---|---|---|---|
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | １ほぼ全ての利用者の<br>(自己　②利用者の２/３くらいの<br>評価）３利用者の１/３くらいの<br>４ほとんど掴んでいない | 利用者の方の性格や、思いを理解できるよう、細かい心のアンテナをはり、心の奥に潜んでいる思いの把握に努めるよう取り組みたい。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ①毎日ある<br>(自己　２数日に１回程度ある<br>評価）３たまにある<br>４ほとんどない | 少しずつでも時間を見つけては、そばに寄り添い一緒に過ごすようにしている。また、その時には個々の要望に沿うようにも努めている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | １ほぼ全ての利用者が<br>(自己　②利用者の２/３くらいが<br>評価）３利用者の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | 自己表現をしにくい利用者の方には声掛けの方法も考えながら表情などで理解するよう努めている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | １ほぼ全ての利用者が<br>(自己　②利用者の２/３くらいが<br>評価）３利用者の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | その都度の表情や言葉などで個々の要望に沿えるように努めている。また、その支援によって笑顔が見られる事も多い。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | １ほぼ全ての利用者が<br>(自己　②利用者の２/３くらいが<br>評価）３利用者の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | 井戸端会議や日常の会話の中で外出の希望を聞くようにしているが、散歩や外出を好まれない方もいらっしゃるので希望を言える様な雰囲気作りに努めている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ①ほぼ全ての利用者が<br>(自己　２利用者の２/３くらいが<br>評価）３利用者の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | 定期的に協力医院の医師による往診や家族の方の協力による通院、また看護師との連携により体調の変化には早く気づき、早く対応するように努めている。 |
| 94 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | １ほぼ全ての利用者が<br>(自己　②利用者の２/３くらいが<br>評価）３利用者の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | 個々の利用者の方との信頼関係を築けるように日頃から意識して接するように努めている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | １ほぼ全ての家族と<br>(自己　②家族の２/３くらいと<br>評価）３家族の１/３くらいと<br>４ほとんどできていない | 要望を話していただけるような接し方（信頼関係）に、注意して会話をするように努めているが、面会にほとんど来られない家族とは十分とはいえない。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | １ほぼ毎日のように<br>(自己　２数日に1回程度<br>評価）③たまに<br>４ほとんどない | 利用者の方の近くの知り合いの方はよく来られるが、地域の人々や馴染みの方が来られる事は少ない。今後努力したい。 |

# 自己評価及び外部評価票

| 項　目 | | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を○印で囲むこと） | 判断した具体的根拠 |
|---|---|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | (自己評価)<br>１大いに増えている<br>２少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>４全くいない | 運営推進会議や、夏祭りなどへの参加で、少しずつは理解されてきているとは思うが、今後も努力したい。 |
| 98 | 職員は、活き活きと働けている | (自己評価)<br>１ほぼ全ての職員が<br>②職員の２/３くらいが<br>３職員の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | 笑顔が多く、ミーティング時も活発に建設的な意見が多く出ている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | (自己評価)<br>１ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>３利用者の１/３くらいが<br>４ほとんどいない | 個々の利用者の方の今何が必要なのかをいつも考えながら話をするように努め、信頼関係が築けるように取り組んでいる。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | (自己評価)<br>１ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の２/３くらいが<br>３家族等の１/３くらいが<br>４ほとんどできていない | 家族の方がよく面会に来られたり、よく話をする家族の方はある程度満足していると思われるが、接点のあまりない家族の方とは密に連絡を取りながら満足していただけるサービスを提供できるよう努めたい。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

**(自己評価)**

・職員自身の健康管理に注意し、精神のバランスを整え、いつも笑顔で利用者の方と接することができるよう努めている。
・介護する側の一方的な自己満足にならないように利用者の方の心の奥に潜んでいる思いについて、いつも振り返り反省するように職員間で話し合っている。